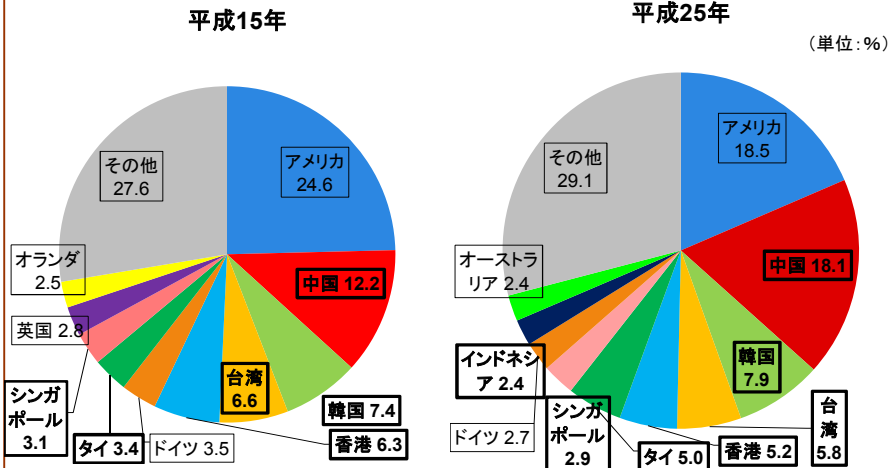


10. 港湾・空港



日本の国別輸出額割合

出典：財務省貿易統計



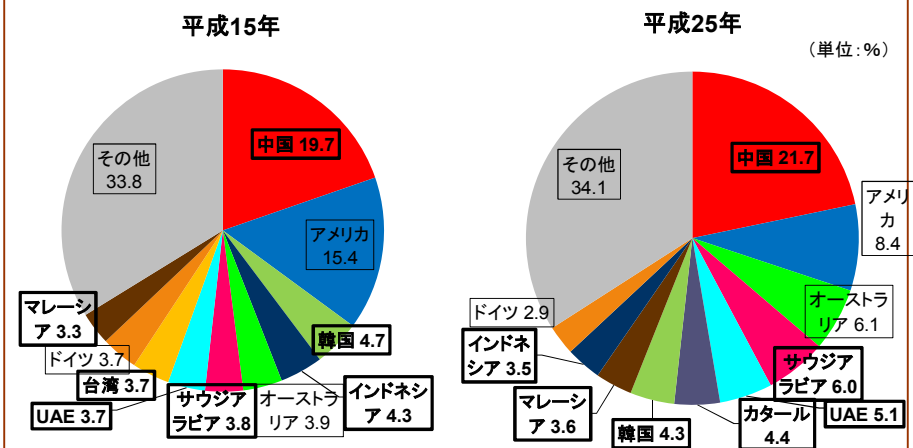
日本の国別輸出額の割合は、平成15年と平成25年の比較で、アジア諸国への輸出額の割合が39.0%から47.3%と8.3%増加している。

10. 港湾・空港



日本の国別輸入額割合

出典：財務省貿易統計



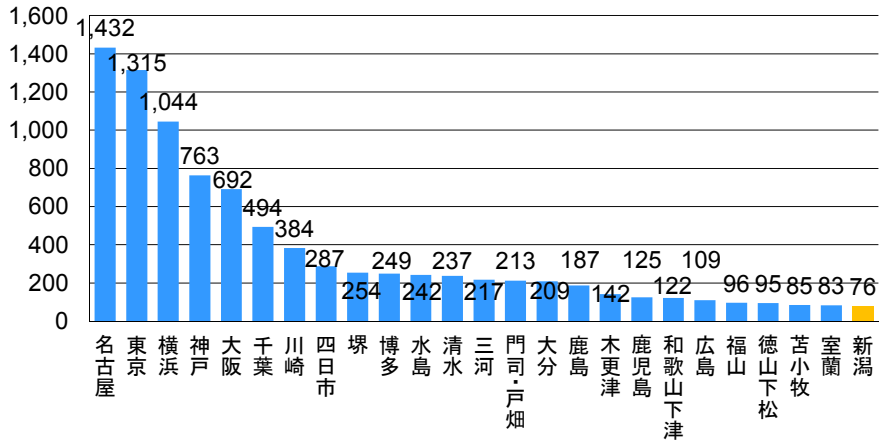
日本の国別輸入額の割合は、平成15年と平成25年の比較で、アジア諸国からの輸入額の割合が43.2%から48.6%と5.4%増加している。

10. 港湾・空港

港湾別貿易額

出典：財務省貿易統計(H24)

(単位：百億円)



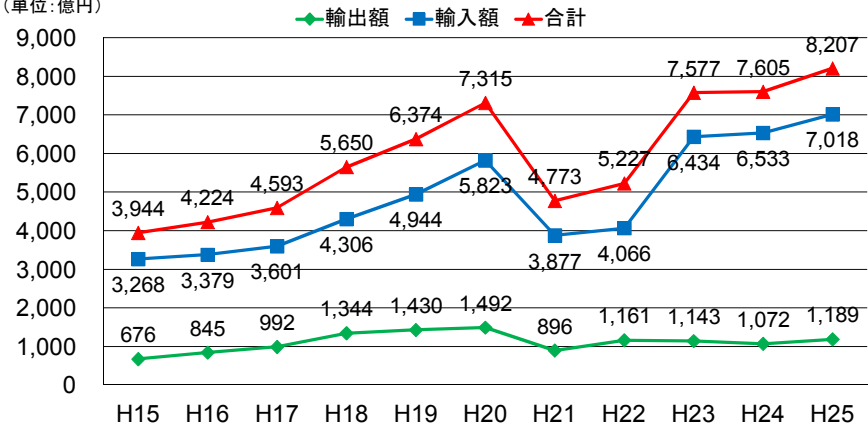
新潟港の貿易額は約7,600億円で、全国の港湾の中で第25位となっている。第1位は名古屋港で約14兆3,200億円。

10. 港湾・空港

新潟港の貿易額

出典：財務省貿易統計

(単位：億円)



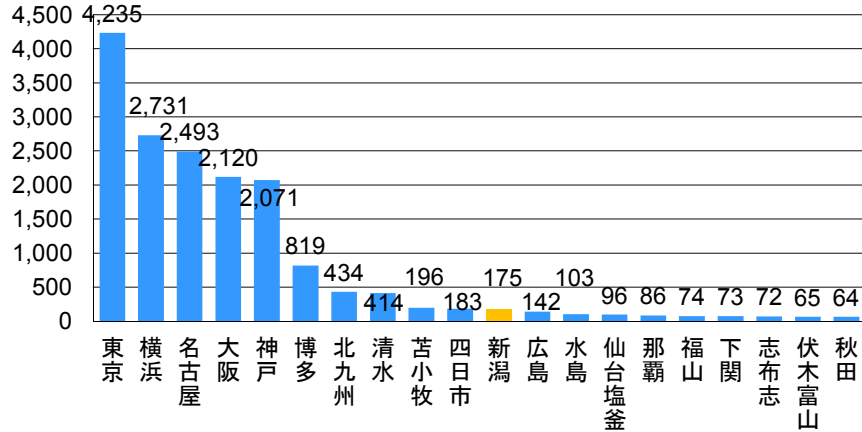
新潟港の輸入額は、平成23年に前年比約1.6倍と大きく増加した。平成25年は過去最高額となっている。輸出額は、平成20年まで増加していたが、平成21年に減少し、1,000億円を下回った。その後、平成22年に増加したが、平成23年、24年は減少し、平成25年に再び増加に転じた。

10. 港湾・空港

港湾別外貨コンテナ取扱量

(単位:千TEU)

出典:国土交通省資料(H24)



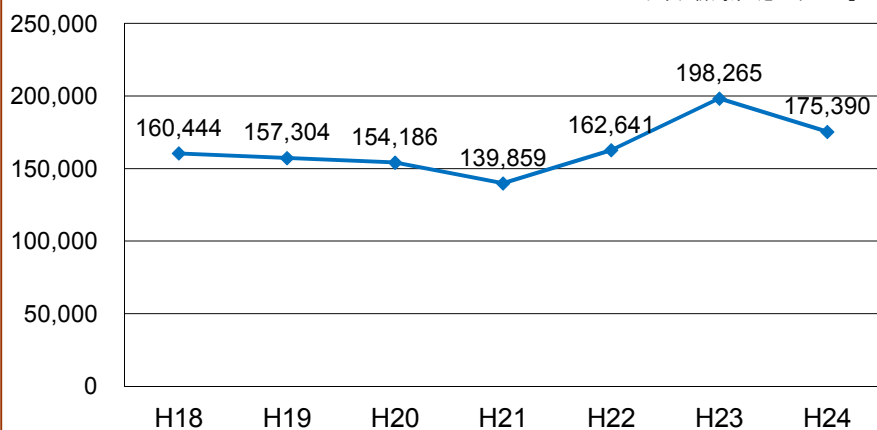
新潟港の外貨コンテナ取扱量は、175,000TEUと全国の港湾の中で第11位となっている。第1位は東京港で4,235,000TEU。

10. 港湾・空港

新潟港の外貨コンテナ取扱量

(単位:TEU)

出典:新潟県「港のすがた」



新潟港の外貨コンテナ取扱量は、平成21年まで減少していたが、平成22年に増加に転じ、平成23年度に198,265TEUとなった。

10. 港湾・空港

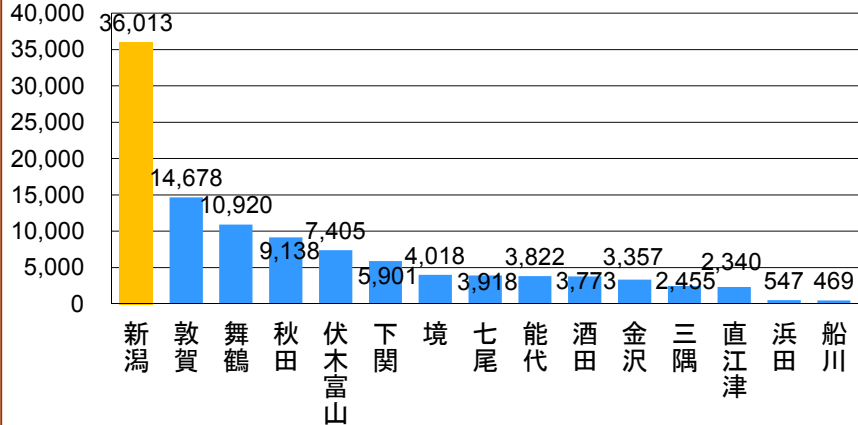
花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



港湾貨物取扱量 (本州日本海側)

(単位:千F/T)

出典:港湾調査(H23)



新潟港の貨物取扱量は、36,013千F/Tで、本州日本海側で第1位となっている。第2位は敦賀港で、14,678千F/T。

10. 港湾・空港

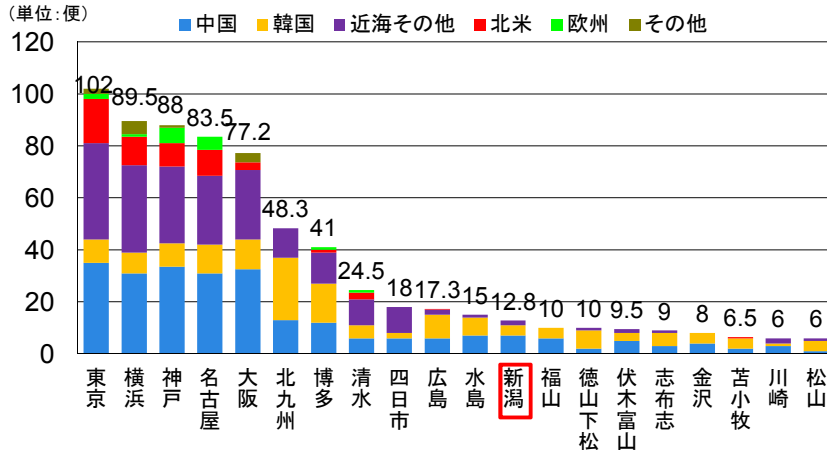
花開く活力、
広がる笑顔。
政令市新潟



外貨定期コンテナ航路便数

(単位:便)

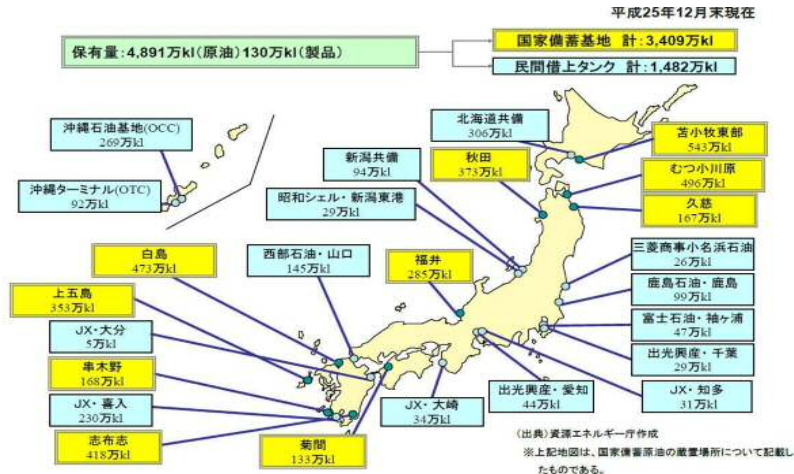
出典:国土交通省資料(H25)



新潟港の1週間あたりの外貨定期コンテナ航路便数は12.8便で、全国の港湾で第12位となっている。このうち、中国航路が最も多く、7.0便/週となっている。

10. 港湾・空港

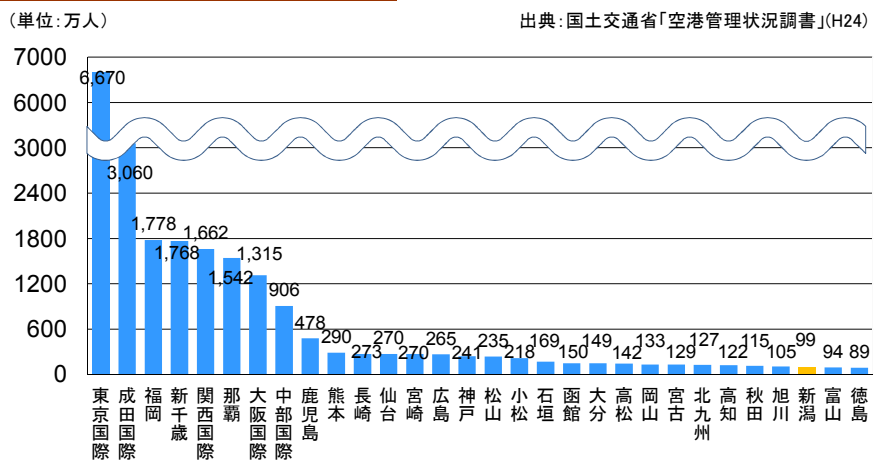
石油備蓄



国内の石油備蓄のうち、本州太平洋側には9か所、本州日本海側には4か所が設けられている。本州日本海側の備蓄のうち、2か所が新潟東港の民間備蓄である。

10. 港湾・空港

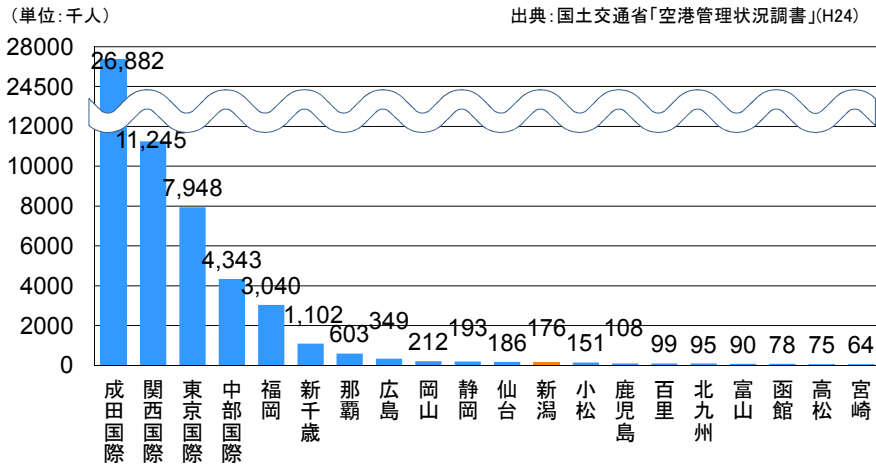
空港別乗降客数



新潟空港の乗降客数は約99万人で、全国の空港の中で第28位となっている。第1位は東京国際空港で、約6,670万人。

10. 港湾・空港

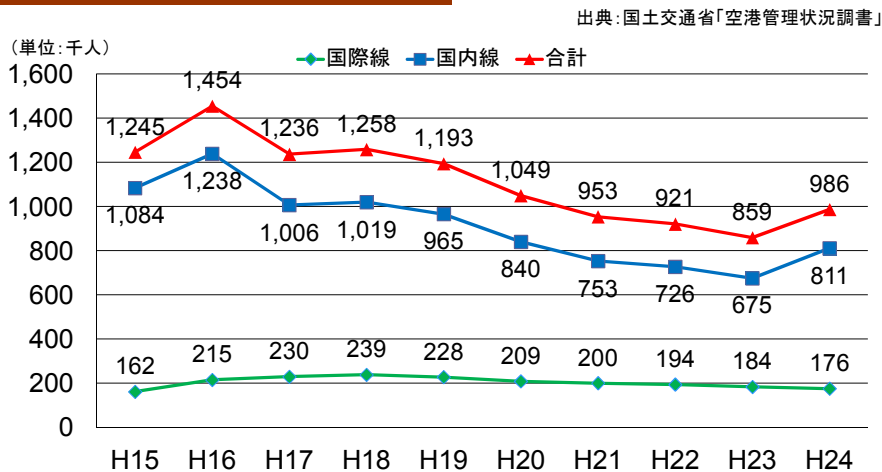
空港別国際線乗降客数



新潟空港の国際線乗降客数は約176,000人で、全国の空港の中で第12位となっている。第1位は成田国際空港で、約2,688万2,000人。

10. 港湾・空港

新潟空港乗降客数



新潟空港の乗降客数は、平成16年度をピークに減少し続けていたが、平成24年度に国内線が増加に転じた。国際線は平成18年度から減少し続けている。